



NISHINOMIYA EBISU 平成三十年 新春号

西宮 えびす

◎十日えびす

新春のご祈禱のご案内

平成三十年二月～六月の主な祭典

資料展示室第二十三回企画展「西宮神社古写真と絵馬展」

えびすさまにちなんだ商品ぞくぞく登場



NISHINOMIYA EBISU 平成三十年 新春号

西宮 えびす

◎十日えびす

新春のご祈祷のご案内

平成三十年二月～六月の主な祭典

資料展示室第二十三回企画展「西宮神社古写真と絵馬展」

えびすさまにちなんだ商品ぞくぞく登場



平成三十年の新しいき歳を迎え、 ご崇敬各位の益々のご多幸をお祈り申し上げます。

西宮神社 宮司 吉井良昭

年が明け初詣が終わると、関西を中心に招福・商売繁盛等を祈る十日えびすが執り行われます。各地のえびす神社では新しく迎えた年の「福」を祈り、福笹・福箕・熊手などの縁起物を求める参拝者で賑わいます。当社におきましても正月九日から三日間、十日えびすの神事・行事を執り行います。皆様にはえびす大神さまの福をお授かりになり、益々のご繁栄を祈念致します。

本年は「明治」と改元されて百五十年を迎えます。明治期のえびす信仰を振り返りますと、徳川幕府から明治新政府へと体制は大きく変わり、その荒波に翻弄されながらも庶民信仰としてえびす信仰は強く太く、更に篤く渾しく受け継がれてきたことが窺えます。江戸初期以来幕府によつて担保されていた御神影頒布は、その組織維持の困難さに直面しましたが、形を変え各地に教会所を設け新たな講社組織の設立を経て現在に継承されています。明治二十年年代以降には、鉄道の発展とともに中津川、須坂、桐生、佐賀を始め各地へ御分霊が続きました。商売繁盛の神として熱望され、篤い信仰心と大きな期待をもつてえびすさまが迎えられたのです。一方、同三十九年の神社合祀令により港毎に祀られていたえびす小祠の多くが合祀され、姿を消したところも少なくありません。

神社合祀に反対の論陣を張った南方熊楠の意見書には、和歌山県内のえびす社合祀の一件が登場します。

日夜板一枚の命がけの仕事をする者どもゆえ、朝夕身の安全を蛭子命に禱り、漁に打ち立つ時獲物あることに必ずこれに拝詣し報賽し、海に人落ち込みし時は必ずその人の罪を祓除し、不成功なることに罪を懺悔して改過し、尊奉絶えざるなり。しかるに海幸を守る蛭子社を数町乃至一、二里も陸地内に合併されては、事あるごとに祈願し得ず。

漁夫より漁神を奪つては信仰の退廃を招く、即ちこれは角を直さんとして牛を殺すことだ、と論難しています。このように明治四十五年のえびす信仰を俯瞰すれば、再編、拡大、合祀と様々な困難や新たな機会に遭遇した時代であつたといえます。津々浦々の人々は新しい時代の波に揉まれながらも、また一方ではそれをうまく取り入れていつも身近に寄り添う福の神として日々えびすさまへの信仰を捧げてきました。そのお蔭によつて今日の十日えびすや各地のえびす講の賑わいを見ることが出来ます。

えびす大神様のご加護のもと、福多き年となりますようお祈り申し上げます。



大祓式おほはらえのし案内

大祓とは、イザナギさまが黄泉の国からお戻りになった時みよほら、祓禊をされた事に由来する、日本人の伝統的な清浄感を伝える神事です。

大宝元年(七〇二年)に制定された法律『大宝律令』にも年中行事として六月・十二月に「大祓」を行う事が見えており、また疫病の流行などの不測の事態にも臨時の大祓が行われるなど、国家を挙げての一大行事でありました。

一方、全国各地の神社でも氏子崇敬者の罪穢を祓う神事として広く行われており、当社では六月と十二月に社頭でお祓いの人形ひとがたをお頒かちし、六月三十日、また十二月三十一日に大祓式を斎行。大祓詞を奏上し、皆様が健やかに過ごせるように祈ります。

■大祓ご奉賛のご案内

●年越としこしの大祓(人形頒布期間十二月一日〜三十一日)

お祓いをされた人形は十二月三十一日午後四時斎行の年越大祓式にてお清め致します。

●夏越なごしの大祓(人形頒布期間六月一日〜三十日)

お祓いをされた人形は六月三十日午後四時斎行の夏越大祓式にてお清め致します。

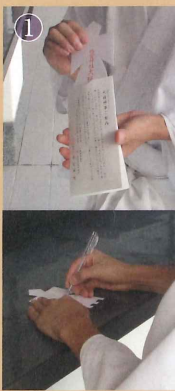
いずれの大祓式もどなたでもご自由にご参列いただけます。皆様のお参りをお待ち致しております。

新年を清々しく過ごせるようにお祓いをしましょう。

西宮神社大祓人形



お祓いの方法



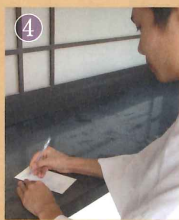
① 人形を袋から取り出し、氏名・年齢を記入して下さい。



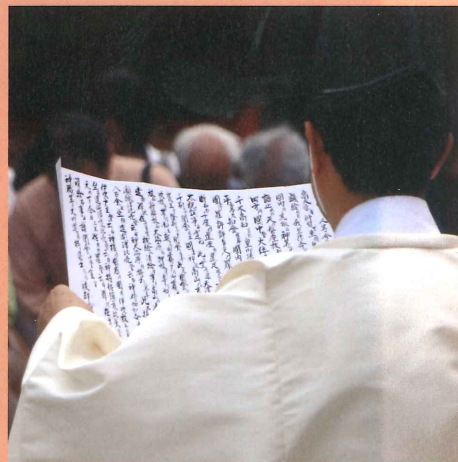
② 人形を頭の上から足まで撫でて下さい。



③ 三度息を吹きかけて下さい。



④ 袋に必要事項をご記入頂き、人形を収め社務所へお持ち下さい。ご家族全員でお祓いをされる際には人数分を袋にまとめて入れて頂き入り数をご記入下さい。



福の神えびすさまの

ご神徳がもつとも高まる

十日えびす。

商売繁盛・家内安全を祈って

全国各地より

百万人の参拝者が訪れる、

阪神間屈指の祭典です。

十日えびす

一月九日

火宵えびす

一月十日

水本えびす

一月十一日 木残り福



一月八日(月)

午前九時三十分頃

招福大まぐろ奉納式

十日えびすを

彩る大マグロ。

硬貨が貼りつく

と、お金が身に

つくといわれ、

大勢の参拝者

が願をかけら

れます。十日え

びす前日の八日、神戸市東部水産物卸売協同組合など三社より奉納されます。

午後二時 献華祭

平成二十九年より斎行した神事で、い

けばな嵯峨御流

西宮えびすの宮

会より神前に献

華されます。ま

た、西宮神社会

館二階の休憩所

でも作品が展

示されます。



正月・十日えびす

えびすさまの両参りのご案内

境内には

えびすさま

のお優しい

お力(和魂)

を祀る本殿

に対し荒々

しいお力

(荒魂)を祀

る境内社沖



恵美酒神社(通称あらえびす神社)があります。平成三十年が和荒二柱のえびすさまの福につつまれた年となります。また、正月・十日えびす期間にはあらえびす神社特設授与所にて特別授与品を授与いたします。

あらえびす守

おまもりえびす



一月九日

午後二時 **有馬温泉献湯式**

関西の奥座敷として知られる名湯
有馬温泉と旅館組合の繁栄を祈り、
拜殿にて湯もみが奉納されます。



一月十日

午前四時 **十日えびす大祭**

十日えびすで最も大切な神事で浄間の
なか神職のみで奉仕します。



午前六時 **開門神事福男選び**

拜殿大太鼓を合図に表大門が開かれる
と、外で待つ約五千人の参拝者が一斉に走
り参りをする十日えびすの風物詩。本殿
の神職に受け止められた三人をその年の
福男として認定します。



一月十一日 **残り福**

■**ご祈祷・お神楽のご案内**

正月三が日と十日えびすの三日
間は特別に本殿での昇殿祈祷を奉
仕致します。

福の神えびす
さまのご加護の
もとこの一年を
福々しくお過ご
し頂きますよう
ご案内申し上げ
ます。

◎**祈祷料**

個人 五千元
会社 二万円

◎**神楽料**

三千元





提供:西宮市情報公開課



第二十三回えびす信仰資料展示会

西宮神社 古写真と絵馬展

会期:平成29年11月1日～
平成30年1月31日(午前9時～午後4時)

※迎春準備期間及び十日えびすの期間は閉室致します。



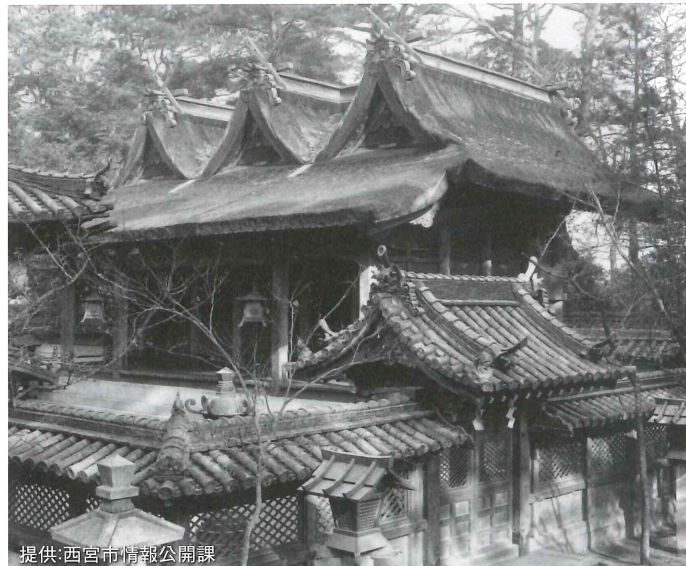
絵馬殿

当社は鎮座以来、交通の要衝であり、諸勢力が入り乱れるという地理的環境から数多の災禍に見舞われ、その都度再建されてきました。本企画展ではそうした歴史の荒波にもまれながらも続けられてきた信仰の営みを、古写真と絵馬から紹介致します。

当社所蔵の写真に加え西宮市情報公開課所蔵の写真を展示し、西宮神社の昔の姿に迫ると共に、現在の祭祀の様子などと照らし合わせてご覧頂けます。懐かしい風景や今と変わらぬ賑わい、また往時の神社の新しい発見をお楽しみ頂けます。

また、平成七年の阪神淡路大震災によって倒壊した絵馬殿に掲示していた絵馬や額の中から、比較的保存状態の良い数点を選び出し、約二十三年ぶりに公開致しました。多くの絵馬に残された傷みは震災の被害の大きさを物語っています。絵馬は生きた馬を奉納する代わりに馬の絵を額に描いたことに由来します。様々な形で奉納された人々の祈りをご覧ください。

西宮神社の絵馬殿は本殿西側の広場にありました。元文(二七三七)年絵馬の数が増えてきてそれまで掲げていた拜殿に掛けられないほどになったため、絵馬殿の新築を尼崎藩に申請しました。その後、本社や末社の修造によつて延期され、宝暦十一(一七六二)年に再申請、十三年に上棟しています。近世中期以降の西宮神社を描いた絵図などに散見され、戦災も逃れた数少ない建造物でしたが、阪神淡路大震災によつて倒壊してしまいました。三間二面の入母屋造本瓦葺きで、月岡雪鼎らの筆による絵馬や畿内の講社から奉納された額などが掲げられていました。



提供:西宮市情報公開課

平成三十年 特別祈禱のご案内

芸能の神さま

ひやくたゆう
百太夫さまの

芸能上達
技能上達祈願



境内に鎮座する百太夫神社は芸能の神、百太夫神をお祀りしています。

諸芸に通じる百太夫神のご加護をお受け頂きたく、平素より芸能、スポーツ、習い事などにお励みの皆様にはご祈願を受けられますようご案内いたします。

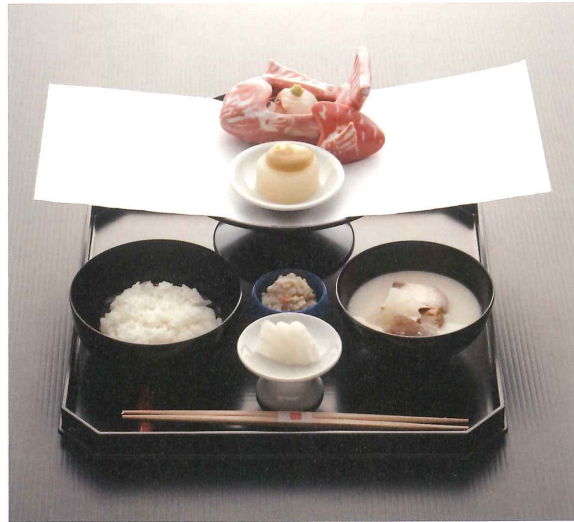
ご祈禱を受けられた方には百太夫さまの芸能上達扇子を授与いたします。ご祈禱後に百太夫神社にご奉納下さい。

福の神えびすさまの

除災招福 ※先着一五〇名限定

えびすさまの福まいり

一月二十七日(土)～二月四日(日)まで



福まいりとは、福の神えびすさまのご加護のもと、降りかかる災厄を除き無事安泰に二年間をお過ごし頂けるよう節分の期間に合わせて齋行する特別祈禱です。

なお、二月四日(日)に福まいりのご祈禱を受けられた方には、ご祈禱後西宮神社社会館にて直会料理「清白御膳」を供します。

※期間中は通常の厄除け祈禱は執行しておりません。ご了承ください。

ともだちたくさん

できるかな?

たのしい学校生活を

おくらう!

えびすさまの**勧学祭**

三月十日(土)～四月二十日(金)まで

福の神えびすさまは広く氏子崇敬者の皆様をお見守り下さいます。この度新しく小学校に入学生をお子様には福の神えびすさまのご加護もと学校生活が楽しく、そして実りあるものとなりますよう特別に勧学祭を齋行します。新一年生をお迎えになるお子様はもちろん、進級を迎えられるお子様にもご祈願を受けられますようご案内申し上げます。

ご祈禱を受けられたお子様には学業上達交通安全のお守とえびすさまの文房具を授与します。



男の子用 勧学祭



女の子用 勧学祭

● 平成三十年一月～六月の主な祭典 ●

六月	五月	四月	三月	二月	一月
十四日 午後二時 おこしや祭 夏越大祓式	六日 午前九時 六甲山神社祭 諸国講社太々神楽祭 十日 午前十一時 本えびす講社太々神楽祭 十五日 午前十一時 大國主西神社祭	一日 午前十時半 西宮郷醇友会太々神楽祭 三日 午前十一時 大阪第一招福組太々神楽祭 四日 午前十一時 日供講社太々神楽祭 五日 午前九時 子どもの日祭 西宮太々講社太々神楽祭 (えべっさんこどもまつり)	二日 午前十一時 松尾神社祭 三日 午前十一時 梅宮神社祭 九日 午前十二時 宇賀魂神社祭 二十九日 午前十時 昭和祭	三十一日 午前十時 春季皇靈殿遙拝式 二日 午前十時 節分祭 七日 午前十一時 初午祭 十一日 午前十時 紀元祭 十七日 午前十一時 祈年祭	一日 午前六時 歳旦祭 二日 午前十時 奉射事始祭 九日～十一日 十日えびす



◇二月三日 節分祭

冬から春に移り変わる節分を迎えるに当たり、除災招福を祈願する神事です。当日限定で節分札を特別に授与致します。
午後五時三十分からは拝殿にて古札のお焚き上げを行いますと共に午後六時から氏子青年会若戎会がつきあげた福餅を無料授与致します。



◇二月七日 初午祭(神明神社例祭)

初午とは、お稻荷様が和銅四年二月初午の日に初めて三ヶ峰(稻荷山)に降臨されたとの伝承をしのぶもので、お稻荷様と信仰をあつめる境内社神明神社祭も初午(平成三十年は七日)に合せて斎行します。祭典後には福餅撒きによる福引を行います。

◇二月十七日 祈年祭

新しい年の五穀豊穡と国家国民の弥栄と安泰を祈る祭りです。十月に斎行される収穫感謝祭である新嘗祭と相対になる形で、古くから重要な祭祀とされております。

◇五月二日～十日 各講社太々神楽祭



新緑豊かな五月。一・三・四・五・六・十日と、様々な崇敬講社よりえびすさまにお神楽をご奉納頂いております。なかには百年以上も絶えずご奉納される団体もあります。ご神前での神事の後の直会の席では福引なども行い大いに賑わいます。
※本えびす講社・日供講社ほどなたでもご入講頂けます。崇敬講社へのご質問・ご入講は西宮神社講社本部へお問い合わせ下さい。

◇六月十四日 おこしや祭



えびすさまのご鎮座伝承をしのぶ神事で、鳴尾からお越しになる途次ご休憩をされたと伝わるおこしや跡地で神事を行います。
午後二時、本殿を發したお神輿はお膝元の西宮中央商店街を巡行。午後三時頃おこしや跡地に到着し神事を執り行います。神輿行列には氏子やびわ娘たちが供奉し、神事後に旬のビワや甘酒を振る舞います。
また境内には、昔なつかしのあそびコーナーなどの屋台も出店し、たくさんの方で賑わいます。

※毎月一日、十日、二十日は本殿にて旬祭を斎行致します。(一月は二十日の下旬祭のみ斎行します。)
※毎朝九時(四月から八時半)より大祓詞を奏上し朝拝を致します。

社頭より

えびすさまにちなんだ商品ぞくぞく登場!

■えびすフィナンシエ

西宮市に本社を構えるアンリ・シャルバンティエさん。ベストセラーの焼き菓子フィナンシエは、年間販売個数ギネス記録の認定を受けられた人気商品です。

このたび地元西宮らしい商品を企画される折、えびすさまをイメージした商品「えびすフィナンシエ」を発売されました。人気のフィナンシエに魔除けの力がある縁起のいい小豆をトッピング。こがね色がかやくパッケージが商売繁盛・福の神えびすさまらしい福々しいデザインです。

毎月一日の月上旬祭には、召し上がられる方の商売繁盛を祈願してご神前に奉納。祭典後には参列者へのお下がりとしてお頒ち頂いております。

●お問い合わせ アンリ・シャルバンティエ
(TEL)0120-917-215



えびす
フィナンシエ

■奉納菓商売繁盛

日本酒のまち西宮らしく甘酒を生地に練り込んだお菓子です。包装には、当社へご奉納頂いた昭和初期の宝船版画に描かれている縁起の良い鯛えびすが用いられております。

幸運な方には、めで鯛金鯛が同封されています。毎月二十日の下旬祭に奉納され、参列者にお下がりとしてお頒ちします。

●お問い合わせ 奉納菓 商売繁盛事務局
(TEL)0798-26-3511



奉納菓商売繁盛

■えべっさん鯛めし

「明石名物ひっぱりだこ飯」で有名な駅弁メーカー淡路屋さんより今年八月十日に発売された西宮名物十日えびす祭りえべっさん鯛めし。



西宮の十日えびすを駅弁に!
えびすさまが抱えている鯛にちなんだ鯛めしの上には鯛の切り身、鯛のほぐし身、そして鯛を釣るための海老などなど、まさに鯛尽くしのにぎやかな駅弁です。

発売に先立つ八月九日にはご神前にご奉納頂きました。

●お問い合わせ 淡路屋
(TEL)078-431-1682

えべっさん鯛めし



■ブレンドコーヒーえべっさん

西宮神社のお膝元、西宮にお店を構える自家焙煎スペシャルティコーヒー専門カフェ COFFEE HOUSE FIELDさん。平成二十八年の十日えびすより境内にコーヒーの試飲ができる休憩所を開かれ、参拝者の憩いの場となっています。

この度、FIELDさんが展開されるブレンドコーヒー「えべっさん」に新しい商品「EBESSAN プレミアム」「えべっさんレギュラー」、そして「えべっさんシーズン」が発売されました。

コーヒー片手にほっと息……。そんなえべっさんの笑顔あふれるパッケージも魅力的です。

●お問い合わせ COFFEE HOUSE FIELD
(TEL)0798-26-2081

EBESSANプレミアム



えべっさんレギュラー

えべっさんシーズン

社頭より

新作えびす舞奉納・一く三番福男参列

九月二十三日に行われた西宮まつりの海上渡御にて、新作のえびす舞が奉納されました。

渡御祭当日の午前十時。えびすさまをお神輿にお遷しし、先ずは氏子四地区のうち今年当番となる用海地区を陸路にて神幸。続いて新西宮ヨットハーバーからえびすさまをお乗せした御座船を中心とした渡御船団が出航し西宮浜を周航します。

御前浜沖では海上の安全を祈る『かざまつり』を斎行し、八乙女らが切麻で海上をお祓いするとともに「淡路人形芸舞組」「人形芝居えびす座」の奉仕にて「人形操り」が奉納されました。

「人形芝居えびす座」の新作えびす舞「えびす大神ご出現の段」は、鳴尾の漁師が神戸の和田岬沖で漁をしていたところ、網にえびすさまのご神像を得たという、「えびすさまのご鎮座伝承」をもとにしたもので、演者の漁師により曳き上げられたえびす像を、演者の船から御座船へと引き渡すという作品です。



本来は昨年の海上渡御にて奉納の予定でしたが雨天中止となり、本年は念願の海上での奉納となりました。

また、今年一月十日に行われた「開門神事福男選び」によって選出された、一番福二番福三番福の福男全員が、この西宮まつりに参列、えびすさまにご奉仕し、大勢の見物者に福を分け与えました。

(写真左より)一番福 鈴木隆司君・二番福 渡部涼君・三番福 小野陽之君)





御神影

頒布始祭



境内照明灯奉納のご報告



前回の社報平成二十九年新春号

個人名、家族の連名、会社名、また

にも記載致しましたが、境内の

お知らせに紹介をして下

照明灯の老朽化に伴い、ご

さつた方までおられる等

奉納を募っております

多くの方々が協賛下

たところ予想を超える

さいました。

沢山の方々からお申込

この明かりのよ

みを頂き、奉納者数六

うにえびすさまの

十五名、灯数十七基の

福が皆様の生活を

照明灯が境内を明るく

明るく照らします事

照らしております。

をお祈り申し上げます。



去る十月十二日に御神影頒布始祭を斎行致しました。

現在も当社で授与致しております御神影札は、全国各地の崇敬団体へも頒布されています。

その始まりは、寛文三(一六六三)年社殿が公儀造営として徳川家綱によつて再建されると共に、社殿造営の費用に宛てるため恵美酒・田神・神馬札の賦与を認可され、寛文七年には独占的な神札頒布を幕府より免許されたことにあります。以後近世を通じて、近国のみならず全国的に御神影札の頒布組織を展開し、現地で願人や社人と呼ばれる頒布人が配札を行い、えびす信仰を広めていきました。

御神影頒布始祭はこの由緒を重んじて、平成二十四年より創始したお祭りです。

当日は各地の頒布関係者・氏子

の方々にご参列頂き、宮司

による祝詞奏

上、巫女によ

る悠久の舞

奉奏に続き、

御神影札授

受の儀が執

り行われまし

た。



社務所ロビーに 著名人絵馬を展示



予てよりお願いをしておりました「えびす絵馬」は、多くのご奉納を頂きお陰様で十二月より社務所ロビーにて展示を致しております。

現在のご奉納は四十八枚、絵馬の内容はえびすさまに因んだ絵や字、抽象的な意匠など種類は様々でございます。

ご奉納者は西宮芸術文化協会会員の芸術家、当社にご参拝をされた著名人の方々に、えびすさまから連想された意匠の絵馬を介して福を広めたいと考えております。

今後とも継続して増やして行く予定でございますので、お参りの際にはぜひともご覧いただき、福の神えびすさまのご神徳を受けて頂きたく存じます。

◎正月・十日えびす特別献備

お酒・お米・お菓子の お供えのご案内

えびすさまのご神徳が最も高まる十日えびす。えびすさまのご加護を仰ぎ全国各地の企業様からお送り頂いた商品を本拝殿にお供えし、ご神慮をお慰め申し上げております。

この嘉日に企業様だけでなく、広く個人・団体の皆様にもご加護を受けられますよう献酒（お酒のお供え）・献米（お米のお供え）・献菓（お菓子のお供え）を受付致しております。

ご奉納頂きました方は、西宮神社献備講員として正月・十日えびすの間、ご芳名を掲示させて頂き今後の益々のご繁栄をご祈念致します。

献酒・献米・献菓についてのお問い合わせは、
当社総務課 ☎0798-33-0321にて承っております。

「えびす善哉」

本年お正月に特別善哉（えびす善哉）をご用意致しました。神社会館にて1〜3日（午前10時〜午後5時）、二日限定100食、お一人様500円にて提供させて頂きます。
ご参拝の折、ぜひ神社会館にお立ち寄り下さい。



春のブライダルフェア

二月二十五日（日）10時〜18時

ご予約
不要

- ◇和装・洋装衣裳展示試着会
- ◇美容相談会（かつら試着体験）
- ◇本殿挙式説明会
- ◇婚礼料理試食会 **要予約**

厳かに…
華麗に…
あこがれの神前式

七五三・宮参り等のご会食も承ります。

西宮神社会館

☎(0798)23-3311

info@jinjyakaikan.com

新年あけましておめでとうござ
います。

編集室から

西宮神社では毎日朝夕欠かさずの日供祭、毎月二十十日の旬祭をはじめ、四季を通し年間約八百の神事を執り行っております。日々の祭典には国家の安泰・国民の安寧等、様々な願いが込められております。また氏子崇敬者の皆様にもお楽しみ頂ける福引や餅つき等の神賑行事も多数執り行っております。年間行事は公式ホームページにてご紹介致しております。皆様ぜひお誘い合わせの上ご参拝ください。

今後とも福の神えびす大神さまのご加護を受けられまして心穏やかに福々しくお過ごしになりますよう、また本年も実り多き良き年となりますよう心より祈念申し上げます。

特設ホームページで
西宮神社の最新情報を
ご覧ください。

西宮神社 公式サイト

検索

http://nishinomiya-ebisu.com



西宮神社
公式サイト
QRコード